

特定非営利活動に関する外部評価の評価項目について

評価対象法人	特定非営利活動法人花山星空ネットワーク
評価者氏名（職名）	太田耕司（京都大学大学院理学研究科教授）
評価対象期間（年度）	2020年度（2020年4月1日～2021年3月31日）

1 法人の事業活動，組織運営等に関する状況

(1) 事業活動について

ア 事業計画等を策定しているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
各事業年度の事業計画は，組織的な合意形成(総会・理事会等)に沿って策定しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
法人の目的を達成するための中長期的計画を策定しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

イ 法人の目的を達成するための基幹となる事業を実施しているか。

法人自己評価		外部評価	
はい	いいえ	はい	いいえ
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

→ 法人自己評価及び外部評価が「はい」の場合，基幹となる事業のうち優先順位の高いものから順に3件程度記入。

項目	法人全体の労力に占める事業に割く労力の割合*
事業名 天体観望会事業	30%
事業名 刊行物やHPによる情報発信事業	20%
事業名 天文科学振興のための講演会等事業	20%

※ 例) 総従事時間数に占める各事業の従事時間数の割合

(2) 組織運営について

ア 定款に定める権能に基づき，総会で審議・意思決定が行われているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
定款に定める正当な招集者の範囲や方法で招集し，議案書に基づき審議を行う体制となっているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
定款で定められた内容を審議事項として審議しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
決議や議事録署名人の選任，議事録の作成について定款に定める方法で行っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

イ 【定款で理事会の設置を定めている場合】定款に定める権能に基づき，理事会で審議・意思決定が行われているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
定款に定める正当な招集者の範囲や方法で招集し，議案書に基づき審議を行う体制となっているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
定款で定められた内容を審議事項として審議しているか。また，総会の審議事項との区分は明確か。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
決議や議事録署名人の選任，議事録の作成について定款に定める方法で行っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

ウ 監事による監査は適正に行われているか。

項 目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
監事はその法人における特別な立場を理解し、第三者性及び公正性が確保されているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
監事は法人の理事や職員を兼務していないか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
監事は定款に定める職務を執行しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
予算・決算書の作成者が、監査まで行っていないか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

(3) 情報公開について

法人に関する情報を公開しているか。

項 目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
活動の状況や法人運営に係る情報をホームページ等の情報開示ツールで発信しているか。また、適時に更新しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
活動の報告等を会報誌等で情報発信しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
法定の閲覧書類（事業報告書等、役員名簿、定款等）はいつでも閲覧できる状態か。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
事業報告書等の記載内容は、外部に対して理解してもらえるように工夫※して作成されているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

※例：概要の記載や、写真やデータなどを用いたレイアウト等、読み手に対して内容を分かりやすく伝える工夫

(4) コンプライアンス（法令遵守等）について

コンプライアンス（法令遵守等）の観点から組織として取組を推進しているか。

項 目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
事業・活動に関連する法令※を把握し、遵守しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
重要な事項や個人情報を含むデータ・書類等のリスクマネジメントを行っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

※対象となる法令：特定非営利活動促進法，登記に関する法令（組合等登記令），税に関する法令（法人税法等），労務に関する法令（労働基準法等），事業ごとに適用される法令（例：介護保険制度に基づくサービス提供←介護保険法の適用）など

(5) 外部評価について

活動内容を評価し、改善する仕組みを有しているか。

項 目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
これ以前に外部評価を受けたことがあるか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
外部評価を受けた結果を、理事会等で審議する機会を設ける等、改善する機能を有しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

2 法人の事業活動に関する所見

※ 活動の意義・成果等、広く社会に対して活動の成果を発信しているか、地域団体等の他団体との連携の状況など

(1) 活動の意義

(イ) 天体観望会、(ロ) 天体観測体験教室、(ハ) 刊行物やHPによる情報発信・提供、(ニ) 天文科学振興の為の講演会の4事業を中心に、活動を継続している。20年度は新型コロナウイルス感染症拡大のために、対面での観望会・講演会が一部中止となった。このため、観望会をオンラインで実施し、一般公開したが、通常の対面での観望会と比べ、参加者数が増加したようである。対面で開催できるようになった観望会では、参加者数を限定してコロナ感染症対策を十分に行うなど、コロナ禍の中でも様々な工夫を行ない、新しい試みに挑戦して、積極的に活動を継続したことは評価できる。その結果、オンライン配信と対面観望会共に参加者から好評を得たということである。

また、天体観測指導者養成講座についてもコロナ感染症拡大が下火になった時を選んで、前年度より募集定員を減らし、十分な感染防止対策を行なった上で二日間実施したところ、熱心な一般市民、小中高大の教員などNPO会員以外からの参加者を得て好評であったようで、評価できる。

更に2020年6月21日に日本で見られた部分日食について、オンラインで行った観望会の中で安全な太陽観測法を紹介し、安全に太陽を観察するための太陽めがねを実費で配布を行ったことも意義のある活動であったといえる。

これらのことから、コロナ禍の中にあっても、引き続き社会貢献度の高い活動が行われたと、判断できる。

(2) 社会への発信状況

上記の事業の実施に当たっては、会員だけではなくホームページや新聞紙上などで広く一般市民にイベント開催情報を発信しているため、その結果、イベント参加者のうち、会員以外の市民と青少年の参加割合が80%となっている。

このように、事業の認知度は年々市民の間に広がりを見せており、宇宙科学・自然科学に親しむ場として、多くの市民や青少年の参加が得られていると判断される。

(3) 地域団体との連携の状況

地元山科区の広報アプリ「やましなプラス+」で山科区民へ情報発信するとともに、山科区が主催する「教育・子育て分野における山科の魅力」をテーマにした座談会に積極的に参加するなど、地域との連携を深めている。

また、京都大学理学研究科附属花山天文台の特別公開や講演会、天体観望会などのイベントにボランティアを供給して協力している。

(4) その他所見・提言

コロナ感染症が拡大している現状を踏まえ、それを防止するために、対面での天体観望会、講演会が開催できない状況が続いているので、昨年度に引き続きネットによるオンライン天体観望会・講演会の実施などの工夫を期待したい。

3 法人の組織運営に関する所見

※ 財務管理の透明性, 組織体制の状況など

(1) 財務管理の透明性

事業報告書、会計収支計算書、財産目録、貸借対照表などがホームページ上に公開されており、透明性が保たれている。

(2) 組織体制の状況

(イ) 理事会の開催について

2020年度には、第49回(4月25日)、第50回(10月4日)、第51回(12月13日)、第52回(3月10日)と4回の理事会が開催され、議事録も作成されており、理事会は正常に機能しているといえる。

(ロ) 総会の開催について

2020年度には、第13回通常総会(2020年5月31日(日))が、書面表決者を含む過半数の正会員が出席して開催され、2019年度事業報告、2019年度会計収支報告、2020年度事業計画、2020年度予算計画、新役員の選出などの理事会案が承認可決されている。議事録も作成されている。

(ハ) 監事による監査について

通常総会に先立って、2名の監事が会計収支および財産管理に関する監査を実施した上で、その結果を総会で報告している。

(ニ) その他所見・提言

今年度は約40万円の赤字であるが、今すぐ困るということはないかもしれないが、今後も続くとなるとインパクトは大きいと思われるので、注視していきたい。

《評価対象法人記入欄》

4 外部評価結果への対応状況

外部評価により提言・指摘等を受けた事項に対する対応状況（今後対応する場合は対応予定）

提言・指摘等を受けた事項	対応状況又は対応予定
<p>コロナ感染症が拡大している現状を踏まえ、それを防止するために、対面での天体観望会、講演会が開催できない状況が続いているので、昨年度に引き続きネットによるオンライン天体観望会・講演会の実施などの工夫を期待したい。</p>	<p>昨年度からコロナ感染症対策として、対面での天体観望会が実施できない状況なので YouTube 配信によるオンライン観望会を実施している。2021 年度は 5 月 3 日（月）「太陽」、5 月 22 日（木）「月」にオンライン観望会を実施している。また、講演会は ZOOM によるオンライン講演会を 6 月 6 日（日）に実施した。今後も感染状況をみて対応をしていきたい。</p>
<p>今年度は約 40 万円の赤字であるが、今すぐ困るということはないかもしれないが、今後も続くとなるとインパクトは大きいと思われるので、注視していきたい。</p>	<p>会報の広告掲載の獲得、賛助会員入会の勧誘、寄付金募集によって収入を増やし、赤字が減少するよう努力したいと考えている。</p>

特定非営利活動に関する外部評価の評価項目について

評価対象法人	特定非営利活動法人環境市民
評価者氏名（職名）	折田泰宏氏（弁護士）、宗田好史氏（京都府立大学教授）
評価対象期間（年度）	2020年度（2020年4月1日～2021年3月31日）

1 法人の事業活動、組織運営等に関する状況

(1) 事業活動について

ア 事業計画等を策定しているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
各事業年度の事業計画は、組織的な合意形成(総会・理事会等)に沿って策定しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
法人の目的を達成するための中長期的計画を策定しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

イ 法人の目的を達成するための基幹となる事業を実施しているか。

法人自己評価		外部評価	
はい	いいえ	はい	いいえ
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

→ 法人自己評価及び外部評価が「はい」の場合、基幹となる事業のうち優先順位の高いものから順に3件程度記入。

項目	法人全体の労力に占める事業に割く労力の割合※
事業名 持続可能な地域創造／気候変動の適応共創プログラム	35%
事業名 グリーンコンシューマー・持続可能な消費プロジェクト	35%
事業名 環境教育	30%

※ 例) 総従事時間数に占める各事業の従事時間数の割合

(2) 組織運営について

ア 定款に定める権能に基づき、総会で審議・意思決定が行われているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
定款に定める正当な招集者の範囲や方法で招集し、議案書に基づき審議を行う体制となっているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
定款で定められた内容を審議事項として審議しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
決議や議事録署名人の選任、議事録の作成について定款に定める方法で行っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

イ 【定款で理事会の設置を定めている場合】定款に定める権能に基づき、理事会で審議・意思決定が行われているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
定款に定める正当な招集者の範囲や方法で招集し、議案書に基づき審議を行う体制となっているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
定款で定められた内容を審議事項として審議しているか。また、総会の審議事項との区分は明確か。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
決議や議事録署名人の選任、議事録の作成について定款に定める方法で行っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

ウ 監事による監査は適正に行われているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
監事はその法人における特別な立場を理解し、第三者性及び公正性が確保されているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
監事は法人の理事や職員を兼務していないか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
監事は定款に定める職務を執行しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
予算・決算書の作成者が、監査まで行っていないか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

(3) 情報公開について

法人に関する情報を公開しているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
活動の状況や法人運営に係る情報をホームページ等の情報開示ツールで発信しているか。また、適時に更新しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
活動の報告等を会報誌等で情報発信しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
法定の閲覧書類（事業報告書等、役員名簿、定款等）はいつでも閲覧できる状態か。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
事業報告書等の記載内容は、外部に対して理解してもらえるように工夫※して作成されているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

※例：概要の記載や、写真やデータなどを用いたレイアウト等、読み手に対して内容を分かりやすく伝える工夫

(4) コンプライアンス（法令遵守等）について

コンプライアンス（法令遵守等）の観点から組織として取組を推進しているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
事業・活動に関連する法令※を把握し、遵守しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
重要な事項や個人情報を含むデータ・書類等のリスクマネジメントを行っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

※対象となる法令：特定非営利活動促進法，登記に関する法令（組合等登記令），税に関する法令（法人税法等），労務に関する法令（労働基準法等），事業ごとに適用される法令（例：介護保険制度に基づくサービス提供←介護保険法の適用）など

(5) 外部評価について

活動内容を評価し、改善する仕組みを有しているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
これ以前に外部評価を受けたことがあるか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
外部評価を受けた結果を、理事会等で審議する機会を設ける等、改善する機能を有しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

2 法人の事業活動に関する所見

※ 活動の意義・成果等、広く社会に対して活動の成果を発信しているか、地域団体等の他団体との連携の状況など

今年度はコロナウイルス感染症蔓延防止のため緊急事態宣言が出され、従来の活動が制限され、その対応に追われた1年だった。年度当初には、関係機関同様に当法人も大いに困惑したものの、いち早くリモートを活用して事業活動を再開することができた。そして、リモートを通じた活動ならではの成果を上げることができた。

その成果の一つがノートルダム女子高校での生徒さんのオンラインならではの反応であり、もう一つが副代表理事の松田さんの在宅勤務ぶりであると感じた。従来、市民公益活動は、現場を重視するといって当然対面で伝統的なスクール形式で受講者が受け身になりがちだった。また、社会人のボランティア参加が多く、一般の勤務時間外に事務所に集まって会議を開くのが一般的だった。しかし、対面でなくともオンラインで十分に対話できること、むしろリモートだから発言しやすく、能動的になる人もいることが分かった。また移動の時間が不要になり、家庭生活の傍らで仕事を進めることで普通の市民の日常生活に近い感覚で活動を続けることができることを学んだ。

この二つの例示だけに限らず、今年度の多くの活動実績から、ウイズコロナを経た新時代の市民活動の新しい形への気付きにつながったと考える。特に、社会への発信が一気に広がる予感があった。関連団体の多くがオンラインでつながる中、今後の展開が期待される。

外部評価委員を代表してまとめ：宗田好史氏（京都府立大学教授）

3 法人の組織運営に関する所見

※ 財務管理の透明性、組織体制の状況など

今年度はコロナで活動が縮小し、収入・支出とも大きな影響を受けた。そのため、持続化給付金、家賃補助などをえて財務上の困難を乗り越えたといえる。それでいて、上記のようにオンラインに対応したリモート会議、セミナーを活用し、新しい活動を始めており、時宜をえた適切な対応だったと評価できる。

組織体制は、専任の事務局メンバーが今年度も補充できていないことが課題とはいえるが、組織外の支援者等の協力もあり、柔軟に対応したと考える。環境市民の活動は、これまでも全国の仲間の皆さんと連携して続いてきた。今年度は頻繁に行き来すして対面での共同作業はほとんどなくなったが、リモート会議を活用し、時間を有効に使い、社会的影響力を維持しつつ、新たな活力を生み出すことに努めた。オンラインだからこそ、これまで培ったネットワークが活用できたといえる。

外部評価委員を代表してまとめ：宗田好史氏（京都府立大学教授）

《評価対象法人記入欄》

4 外部評価結果への対応状況

外部評価により提言・指摘等を受けた事項に対する対応状況（今後対応する場合は対応予定）

提言・指摘等を受けた事項	対応状況又は対応予定
環境首都創造ネットワークが解散し、持続可能な地域創造ネットワークへと変わったとのことだが、組織構成はどのようになっているのか。（折田氏）	2020年6月26日、新組織である持続可能な地域創造ネットワークが設立した。これは環境市民が事務局を務める環境首都創造ネットワークと環境自治体会議とが一緒になったもの。これまでの自治体、研究者、NGOに加えて、会員はおおよそ110個人・団体。教育機関の関係者や大学生も加わった構成となり、プロジェクトベースで動いている。環境市民が担当しているプロジェクトとしては、「自治体の持続可能性（SDGs）の評価指標」を作っていこうというもの、「地域主体の適応策（気候変動の地元学）を実践していくプロジェクトとなっている。（杵本）」
コロナ禍で、講演依頼への影響はあるか。（折田氏）	講演予定だったものが中止になったり、延期になったりと影響はまだまだ続いている。しかし、オンラインでも研修や講演が可能なことを紹介し、実施に至ったものもある。提案することで相手の考え方が変わる可能性もある。（下村）
オンラインによる講演、セミナーなどへの対応が必要になった。オンラインだからこそのものがあるが、活用具合はどうか。また、オンラインになったことで全国からの参加や、これまで参加しにくかった層（例えば子育て世代など）も、セミナーやミーティングにも参加できるようになり多様性が広がっている。変化を遂げる社会が求める形を提供していけるか。（宗田氏）	2020年度には、企業のエシカル通信簿の連続セミナーや自治体のごみ削減研修などをオンラインで行なった。また、再エネセミナーや地球研との協働で開催したオンラインセミナーもオンラインということで全国からの参加者を得ることができた。対面であるほうがやりやすい面もあるが、今後は、さらにオンラインでのやり方を工夫し活用していく。今年度は、環境マイスター事業もオンラインも含めて検討し、提案していく予定（杵本、下村）。
人口減による都市の変わり方、ライフスタイルの変化を読み取った上での今後の活動を考えていく必要がある。（宗田氏）	自分自身、今日はオンラインで出席をし、途中、子どもに夕食を食べさせなどもできた。これからも、アドバイスをお願いしたい。（松田）
今後は、地球環境問題と福祉や人権分野など、他分野を組み合わせた内容の講演依頼や取り組みが求められるはず。他分野の人たちも環境問題について考えてもらえる機会になる（宗田氏）	世界人権宣言大阪連絡会議からも「地球環境問題と人権」というテーマでの講演依頼があった。また、その流れでイオンリテリングでも同様のテーマでの研修を行なっている。今後は意識して人権分野への働きかけもしていかなければならない。（杵本）

備考（審査委員会のコメント）

（審査委員会に報告後、当方で記載します。）

特定非営利活動に関する外部評価の評価項目について

評価対象法人	特定非営利活動法人劇研
評価者氏名（職名）	小暮宣雄（京都橘大学現代マネジメント学部 名誉教授）
評価対象期間（年度）	令和2年度（令和2年4月1日～令和3年3月31日）

1 法人の事業活動，組織運営等に関する状況

(1) 事業活動について

ア 事業計画等を策定しているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
各事業年度の事業計画は，組織的な合意形成(総会・理事会等)に沿って策定しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
法人の目的を達成するための中長期的計画を策定しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

イ 法人の目的を達成するための基幹となる事業を実施しているか。

法人自己評価		外部評価	
はい	いいえ	はい	いいえ
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

→ 法人自己評価及び外部評価が「はい」の場合，基幹となる事業のうち優先順位の高いものから順に3件程度記入。

項目	法人全体の労力に占める事業に割く労力の割合*
文化・芸術による地域のまちづくり事業	66.6%
創造事業	10.2%
人材育成事業	7.1%

※ 例) 総従事時間数に占める各事業の従事時間数の割合

(2) 組織運営について

ア 定款に定める権能に基づき，総会で審議・意思決定が行われているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
定款に定める正当な招集者の範囲や方法で招集し，議案書に基づき審議を行う体制となっているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
定款で定められた内容を審議事項として審議しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
決議や議事録署名人の選任，議事録の作成について定款に定める方法で行っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

イ 【定款で理事会の設置を定めている場合】定款に定める権能に基づき，理事会で審議・意思決定が行われているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
定款に定める正当な招集者の範囲や方法で招集し，議案書に基づき審議を行う体制となっているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
定款で定められた内容を審議事項として審議しているか。また，総会の審議事項との区分は明確か。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
決議や議事録署名人の選任，議事録の作成について定款に定める方法で行っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

ウ 監事による監査は適正に行われているか。

項 目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
監事はその法人における特別な立場を理解し、第三者性及び公正性が確保されているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
監事は法人の理事や職員を兼務していないか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
監事は定款に定める職務を執行しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
予算・決算書の作成者が、監査まで行っていないか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

(3) 情報公開について

法人に関する情報を公開しているか。

項 目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
活動の状況や法人運営に係る情報をホームページ等の情報開示ツールで発信しているか。また、適時に更新しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
活動の報告等を会報誌等で情報発信しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
法定の閲覧書類（事業報告書等、役員名簿、定款等）はいつでも閲覧できる状態か。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
事業報告書等の記載内容は、外部に対して理解してもらえるように工夫※して作成されているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

※例：概要の記載や、写真やデータなどを用いたレイアウト等、読み手に対して内容を分かりやすく伝える工夫

(4) コンプライアンス（法令遵守等）について

コンプライアンス（法令遵守等）の観点から組織として取組を推進しているか。

項 目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
事業・活動に関連する法令※を把握し、遵守しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
重要な事項や個人情報を含むデータ・書類等のリスクマネジメントを行っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

※対象となる法令：特定非営利活動促進法，登記に関する法令（組合等登記令），税に関する法令（法人税法等），労務に関する法令（労働基準法等），事業ごとに適用される法令（例：介護保険制度に基づくサービス提供←介護保険法の適用）など

(5) 外部評価について

活動内容を評価し、改善する仕組みを有しているか。

項 目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
これ以前に外部評価を受けたことがあるか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
外部評価を受けた結果を、理事会等で審議する機会を設ける等、改善する機能を有しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

2 法人の事業活動に関する所見

※ 活動の意義・成果等，広く社会に対して活動の成果を発信しているか，地域団体等の他団体との連携の状況など

長いコロナ禍の中で、何とか芸術文化による地域のまちづくり事業や、創造事業、人材育成事業について創意工夫を行い実現したと評価できる。

3 法人の組織運営に関する所見

※ 財務管理の透明性，組織体制の状況など

財務会計の透明度については、数年をかけて改善されてきており、その努力が続けられることを確信している。

《評価対象法人記入欄》

4 外部評価結果への対応状況

外部評価により提言・指摘等を受けた事項に対する対応状況（今後対応する場合は対応予定）

提言・指摘等を受けた事項	対応状況又は対応予定
会計年度の変更により若干修正が必要になったが、今後はより適正な財務管理が行われることが予想できます。	昨年度、会計年度変更により明らかになった問題点を修正・処理し、適切に財務管理を実施した。

備考（審査委員会のコメント）

（審査委員会に報告後、当方で記載します。）

特定非営利活動に関する外部評価の評価項目について

評価対象法人	特定非営利活動法人フォーラムひこばえ
評価者氏名（職名）	浜岡 政好（佛教大学 名誉教授）
評価対象期間（年度）	令和2年度（令和2年4月1日～令和3年3月31日）

1 法人の事業活動、組織運営等に関する状況

(1) 事業活動について

ア 事業計画等を策定しているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
各事業年度の事業計画は、組織的な合意形成(総会・理事会等)に沿って策定しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
法人の目的を達成するための中長期的計画を策定しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

イ 法人の目的を達成するための基幹となる事業を実施しているか。

法人自己評価		外部評価	
はい	いいえ	はい	いいえ
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

→ 法人自己評価及び外部評価が「はい」の場合、基幹となる事業のうち優先順位の高いものから順に3件程度記入。

項目	法人全体の労力に占める事業に割く労力の割合※
事業名 ひこばえ事業	25%
事業名 児童館・学童保育事業 うたの・ひこばえ児童館	25%
事業名 放課後等デイサービス事業 放課後くらぶひこばえ 放課後くらぶひこばえ ふう	25%
事業名 就労継続B型事業（含 生活介護）	25%

※ 例) 総従事時間数に占める各事業の従事時間数の割合

(2) 組織運営について

ア 定款に定める権能に基づき、総会で審議・意思決定が行われているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
定款に定める正当な招集者の範囲や方法で招集し、議案書に基づき審議を行う体制となっているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
定款で定められた内容を審議事項として審議しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
決議や議事録署名人の選任、議事録の作成について定款に定める方法で行っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

イ 【定款で理事会の設置を定めている場合】 定款に定める権能に基づき、理事会で審議・意思決定が行われているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
定款に定める正当な招集者の範囲や方法で招集し、議案書に基づき審議を行う体制となっているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
定款で定められた内容を審議事項として審議しているか。また、総会の審議事項との区分は明確か。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
決議や議事録署名人の選任、議事録の作成について定款に定める方法で行っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

ウ 監事による監査は適正に行われているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
監事はその法人における特別な立場を理解し、第三者性及び公正性が確保されているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
監事は法人の理事や職員を兼務していないか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
監事は定款に定める職務を執行しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
予算・決算書の作成者が、監査まで行っていないか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

(3) 情報公開について

法人に関する情報を公開しているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
活動の状況や法人運営に係る情報をホームページ等の情報開示ツールで発信しているか。また、適時に更新しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
活動の報告等を会報誌等で情報発信しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
法定の閲覧書類（事業報告書等、役員名簿、定款等）はいつでも閲覧できる状態か。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
事業報告書等の記載内容は、外部に対して理解してもらえるように工夫※して作成されているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

※例：概要の記載や、写真やデータなどを用いたレイアウト等、読み手に対して内容を分かりやすく伝える工夫

(4) コンプライアンス（法令遵守等）について

コンプライアンス（法令遵守等）の観点から組織として取組を推進しているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
事業・活動に関連する法令※を把握し、遵守しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
重要な事項や個人情報を含むデータ・書類等のリスクマネジメントを行っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

※対象となる法令：特定非営利活動促進法，登記に関する法令（組合等登記令），税に関する法令（法人税法等），労務に関する法令（労働基準法等），事業ごとに適用される法令（例：介護保険制度に基づくサービス提供←介護保険法の適用）など

(5) 外部評価について

活動内容を評価し、改善する仕組みを有しているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
これ以前に外部評価を受けたことがあるか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
外部評価を受けた結果を、理事会等で審議する機会を設ける等、改善する機能を有しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

2 法人の事業活動に関する所見

※ 活動の意義・成果等、広く社会に対して活動の成果を発信しているか、地域団体等の他団体との連携の状況など

(1) 活動の意義・成果等

2020年度は新型コロナ禍の影響もあり、法人のひこばえ事業（自主事業）、児童館・学童保育事業、放課後等デイサービス事業、就労継続B型事業（含生活介護）の4事業はさまざまな困難に直面することになったが、法人の原点に立ち返り、利用者本位の柔軟な実践に取り組んだ結果、安定した経営を維持することが出来たことは大いに評価できる。新型コロナ禍の下でひこばえ事業など活動の縮小を余儀なくされた事業もあったが、その中で地域における法人の事業や活動の果たしている意義が、職員にも地域の利用者にも改めて再確認されていることがうかがえる。

2020年度には新たな施設整備の運動が行われている。「ひこばえ建設委員会」（「ひこば YELL」）では利用者と職員が一丸となって資金集めが取り組まれている。このように法人の次の発展のための基礎づくりに向けた1年であったと評価できる。単年度の事業計画では対応しにくい施設整備の課題が示しているのは中長期計画策定の必要性である。中長期計画と単年度計画をリンクさせ、PDCA サイクルで事業や活動を展開するスタイルに近づけていくことが求められている。

(2) 社会に対しての活動成果の発信

中長期計画の必要性は事業と活動の長期的な維持発展と関連しているが、それは同時に法人のミッションや歴史を再確認し、利用者、地域住民、職員で共有することと重なっている。それに関わって、法人職員行動規範が策定されたことは評価できる。今後、法人の20周年に向けて、事業や活動の発展を考えると、法人の理念や歴史の文言化やその学習機会の制度化を進める必要がある。活動成果の発信等については、ホームページが充実してきており、法人の広報誌的役割を果たしている。他方、増大する職に対して法人全体の動きを共有するための独自の媒体の必要性が高まっている。

(3) 地域団体等の他団体との連携

16年にわたる事業の継続・拡大によって地域での認知度が高まっている。「地域をつなぐマスクプロジェクト」や「おたすけ隊ボード」の設置などコロナ禍のなかでも地域活動を継続している。こうしたことなどもあって自治連など地域団体との関係は良好であり、地域における法人の事業と活動の理解者・協働者を増やしていることは評価できる。

3 法人の組織運営に関する所見

※ 財務管理の透明性、組織体制の状況など

(1) 財産管理の透明性

総会において事業計画及び予算、事業報告及び決算書、監事監査報告書が審議、議決されており、財務管理の透明性は確保されている。

(2) 組織体制の状況

①総会・理事会

2020年度は総会1回、理事会6回、施設長会議12回が開催されており、定款に基づき適切に審議、意思決定されている。議事録も適切に作成され、保管されている。

②監事・監査

監事は第三者性、公正性を確保しており、定款に定める職務を遂行している。

③事務局体制

この間、事務局体制は少しずつ強化されてきているが、上記「法人の事業活動に関する所見」で述べた法人の事業運営を適正かつ安定的に遂行するためには、まだ不十分である。4事業を総合的に運営していくためには、理事会と施設長会などを支える事務局機能の強化が依然として大きな課題である。このためには施設長を含めた職員集団との法人本部機能に対する合意形成が課題となっている。

④職員体制

事業規模が拡大する中で職員体制の量的・質的強化が求められている。職員研修の強化のための研修委員会の定期開催や体系的な人材育成の仕組みづくりを急ぐ必要がある。またコミュニティ会議（年間11回）の開設は中堅職員の地域活動能力を磨くための場として大いに期待される。

⑤危機管理体制

この間のコロナ禍への対応は、利用者・職員の安全性の確保や事業の継続性との関連で、BCPの現状の確認とともに、それをさらに進化させる課題を提示している。

《評価対象法人記入欄》

4 外部評価結果への対応状況

外部評価により提言・指摘等を受けた事項に対する対応状況（今後対応する場合は対応予定）

提言・指摘等を受けた事項	対応状況又は対応予定
<p>中長期計画と単年度計画をリンクさせ、PDCA サイクルで事業や活動を展開するスタイルに近づけていくことが求められている。</p>	<p>職員も増え、日常的な連絡体制も、朝礼や職員業務 LINE で取りこぼしの無いよう心掛けてはいるが、何か対応すべきことが起こっても、直接事業に関係しないことは、職員間でも他人任せになってしまうところが否めない。業務の範囲、責任の明確化を行い、施設長への報告、連絡、相談を徹底し、決定した事項は確実に連携してやりこなしていく力をつけるよう、体制を整えていきたい。具体的には施設長会議の定例化を引き続き行い、連携をとっていくことと、業務分掌の整備である。2021年度中に整備する。</p>
<p>利用者・職員の安全性の確保や事業の継続性との関連で、BCP の現状の確認とともに、それをさらに進化させる課題を提示している。</p>	<p>コロナ禍で、事業の停止はなかったものの、大きな影響が出た時の対策の脆弱さが表面化してきた。安全安心の対策を継続することを基本に、しかしひこばえの持つコミュニティーづくりの意義や利用者の個別支援についても継続していくことを加味し、2021年度中にBCPの策定を手掛ける。</p>

<p>今後、法人の 20 周年に向けて、事業や活動の発展を考えると、法人の理念や歴史の文言化やその学習機会の制度化を進める必要がある。</p> <p>職員研修の強化のための研修委員会の定期開催や体系的な人材育成の仕組みづくりを急ぐ必要がある。</p>	<p>この間施設建設に向けて、会員、利用者、職員が一丸となった建築委員会「ひこぼ YELL」の実践において、職員は、自らの行動が法人を、地域を動かしていく実感を少し持てたように感じている。そういったことがきっかけとなり、体験した法人の趣旨の具現化を各事業の展開へと結び付けたい。また、中堅層を中心としたコミュニティ会議においてもそういった展開に結び付けたい。</p> <p>新規採用者から管理職まで、各段階に応じた研修計画の見直しを、2021 年度中に行う。</p>
<p>事務局体制は少しずつ強化されてきているが、上記「法人の事業活動に関する所見」で述べた法人の事業運営を適正かつ安定的に遂行するためには、まだ不十分である。4 事業を総合的に運営していくためには、理事会と施設長会などを支える事務局機能の強化が依然として大きな課題である。このためには施設長を含めた職員集団との法人本部機能に対する合意形成が課題となっている。</p>	<p>今年度末から次年度にかけて、法人の趣旨の具現化である「ひこぼえ第三の居場所」を運営する。運営にあたり居場所をコーディネートする人材を、職員の中から選出し、体制を作る必要がある。法人の趣旨をよく理解している職員がコーディネート業務に専念していくために、事務局で行っているルーティンワークについて委譲していけるよう、2021 年度中に体制や手順マニュアルを整備していきたい。</p>

特定非営利活動に関する外部評価の評価項目について

評価対象法人	特定非営利活動法人F a S o L a b o 京都
評価者氏名（職名）	杉岡 秀紀（福知山公立大学地域経営学部准教授）
評価対象期間（年度）	令和2年度（令和2年4月1日～令和3年3月31日）

1 法人の事業活動、組織運営等に関する状況

(1) 事業活動について

ア 事業計画等を策定しているか。

項 目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
各事業年度の事業計画は、組織的な合意形成(総会・理事会等)に沿って策定しているか。	■	□	■	□
法人の目的を達成するための中長期的計画を策定しているか。	■	□	■	□

イ 法人の目的を達成するための基幹となる事業を実施しているか。

法人自己評価		外部評価	
はい	いいえ	はい	いいえ
■	□	■	□

→ 法人自己評価及び外部評価が「はい」の場合、基幹となる事業のうち優先順位の高いものから順に3件程度記入。

項 目	法人全体の労力に占める事業に割く労力の割合*
事業名 出張アレルギーの学び舎	30%
事業名 食物アレルギー相談援助研究会	20%
事業名 サポートデスク	20%

※ 例) 総従事時間数に占める各事業の従事時間数の割合

(2) 組織運営について

ア 定款に定める権能に基づき、総会で審議・意思決定が行われているか。

項 目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
定款に定める正当な招集者の範囲や方法で招集し、議案書に基づき審議を行う体制となっているか。	■	□	■	□
定款で定められた内容を審議事項として審議しているか。	■	□	■	□
決議や議事録署名人の選任、議事録の作成について定款に定める方法で行っているか。	■	□	■	□

イ 【定款で理事会の設置を定めている場合】定款に定める権能に基づき、理事会で審議・意思決定が行われているか。

項 目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
定款に定める正当な招集者の範囲や方法で招集し、議案書に基づき審議を行う体制となっているか。	■	□	■	□
定款で定められた内容を審議事項として審議しているか。また、総会の審議事項との区分は明確か。	■	□	■	□
決議や議事録署名人の選任、議事録の作成について定款に定める方法で行っているか。	■	□	■	□

ウ 監事による監査は適正に行われているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
監事はその法人における特別な立場を理解し、第三者性及び公正性が確保されているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
監事は法人の理事や職員を兼務していないか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
監事は定款に定める職務を執行しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
予算・決算書の作成者が、監査まで行っていないか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

(3) 情報公開について

法人に関する情報を公開しているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
活動の状況や法人運営に係る情報をホームページ等の情報開示ツールで発信しているか。また、適時に更新しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
活動の報告等を会報誌等で情報発信しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
法定の閲覧書類（事業報告書等、役員名簿、定款等）はいつでも閲覧できる状態か。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
事業報告書等の記載内容は、外部に対して理解してもらえるように工夫※して作成されているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

※例：概要の記載や、写真やデータなどを用いたレイアウト等、読み手に対して内容を分かりやすく伝える工夫

(4) コンプライアンス（法令遵守等）について

コンプライアンス（法令遵守等）の観点から組織として取組を推進しているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
事業・活動に関連する法令※を把握し、遵守しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
重要な事項や個人情報を含むデータ・書類等のリスクマネジメントを行っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

※対象となる法令：特定非営利活動促進法，登記に関する法令（組合等登記令），税に関する法令（法人税法等），労務に関する法令（労働基準法等），事業ごとに適用される法令（例：介護保険制度に基づくサービス提供←介護保険法の適用）など

(5) 外部評価について

活動内容を評価し、改善する仕組みを有しているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
これ以前に外部評価を受けたことがあるか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
外部評価を受けた結果を、理事会等で審議する機会を設ける等、改善する機能を有しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

2 法人の事業活動に関する所見

※ 活動の意義・成果等、広く社会に対して活動の成果を発信しているか、地域団体等の他団体との連携の状況など

FaSoLabo 京都は、平成 17 年の任意団体設立以降、16 年の献身的な事業活動が評価され、かつ新しい法人名についても、ここ数年で定着した感がある。

とりわけ令和 2 年度については、コロナ禍にあって計画変更や縮小を余儀なくされたと推察されるが、単純に縮小・中止とせず、様々な工夫を凝らしながら、事業継続がなされていることにまずもって敬意を表したい。

具体的には、社会的理解では、主たる財源となっている受託事業「つどいの広場」の運営（オンライン含む）や季節行事の実施、食物アレルギー啓発ポスターの作成、京都市学校保健会研修会の実施、おもほり&野草観察会の実施、令和 2 年度は「食物アレルギードリームプランプレゼンテーション」が新しく実施された。これは特筆すべき挑戦である。

次に当事者支援では、これまでの食物アレルギーサポートデスクの運営（オンライン含む）やこどもパティシエ体験はもとより、新しく令和 2 年度は小学校入学準備・学校生活勉強交流会やティーンズミーティングなどが新しく展開された。

続いて支援者支援では、令和 2 年度から福知山や南丹市、京都市の子育て支援 NPO と連携し、京都府内の子ども・子育て支援団体と協働で、緊急事態で必要な子育て支援資源調査、政策提言が行われた。これも特筆すべきである。

最後に組織の基盤強化については、新しい監事の就任だけでなく、令和 2 年度は初のインターン生の受け入れも行われ、従来のニュースレターなどの発信だけでなく、ツイッターも新たに開設された。

以上より、本年度の活動についてはコロナ禍という逆風にも関わらず、本法人の目指す社会像の実現に対して、絶え間ないチャレンジをし続けた一年であったと総括できる。その上でさらなる事業発展を望み、以下の 3 点の検討をお願いしたい。

(1) 収益構造の見直し

平成 30 年度年度は黒字決算であったが、平成 31 年度（令和元年度）に続き令和 2 年度も約 20 万円の赤字、次期繰越正味財産も約 100 万円の累積赤字となっている。コロナ禍の影響もあり、かつ特定非営利活動法人のため、必ずしも大幅な黒字決算になる必要はないが、持続可能な組織にして行くためには、最低限費用を賄うための収益（利益ではない）は必要である。次年度こそは収益構造を見直し、例えば業務委託料、受取補助金、受取助成金以外の収入（例えば、中長期計画に書かれているイエローレシートキャンペーンの活用なども含む）を増やすための戦略が必要である。

(2) ツイッターの継続活用について

インターン生が創設したツイッターページであるが、4 月 19 日以降更新が止まっている。また facebook ページは 1107 フォロワーがいるが、ツイッターは開設間もないこともあってか 67 フォロワーに留まっている。また、中長期計画には「匿名性の高い SNS は活用しない」との言及がある。この現状や整合性も含め、今後ツイッターのどのようように活用するのか（あるいはしないか）について組織として議論し、決定する必要がある。

(3) 監事の増員について

今年度監事の交代があり、現在の監事の人選も適切と思われる。その上で、可能であれば役割分担（例えば一人は業務監査中心、もう一人は財産状況中心など）やダブルチェックの視点も鑑み、複数の監事を配置することが望ましいと考える。この点について理事会でぜひ積極的な議論を期待する。

3 法人の組織運営に関する所見

※ 財務管理の透明性、組織体制の状況など

(1) 先述の通り、必ずしも大幅な黒字決算になる必要はないが、持続可能な組織にして行くためには、最低限費用を賄うための収益（利益ではない）は必要である。次年度こそ収益構造を見直し、例えば業務委託料、受取補助金、受取助成金以外の収入（例えば、中長期計画に書かれているイエローレシートキャンペーンなど）を増やすための戦略が必要である。

(2) 先述の通り、可能であれば役割分担（例えば一人は業務監査中心、もう一人は財産状況中心など）やダブルチェックの視点も鑑み、複数の監事を配置することが望ましい。

《評価対象法人記入欄》

4 外部評価結果への対応状況

外部評価により提言・指摘等を受けた事項に対する対応状況（今後対応する場合は対応予定）

提言・指摘等を受けた事項	対応状況又は対応予定
<p>1) 収益構造の見直し</p> <p>平成 30 年度年度は黒字決算であったが、平成 31 年度（令和元年度）に続き令和 2 年度も約 20 万円の赤字、次期繰越正味財産も約 100 万円の累積赤字となっている。コロナ禍の影響もあり、かつ特定非営利活動法人のため、必ずしも大幅な黒字決算になる必要はないが、持続可能な組織にして行くためには、最低限費用を賄うための収益（利益ではない）は必要である。次年度こそは収益構造を見直し、例えば業務委託料、受取補助金、受取助成金以外の収入（例えば、中長期計画に書かれているイエローシートキャンペーンの活用なども含む）を増やすための戦略が必要である。</p>	<p>【原因】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 31 年度（令和元年度）の社会保険料の個人負担額が繰り越されている。 ・令和 2 年度は精算払いの補助金にて事業を行っていた為、赤字決算となった。 <p>【今後の計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当法人の理念に共感してつながりを持っていただける新規企業・個人サポーターの増加を目的に、これまでにイベント等で連携を行った企業・個人にサポーター入会案内の手紙を書き、会費の増加を図る。 ・未使用ハガキ・切手の回収やプロジェクトごとの募金箱の設置、オープンキャンパスでガチャガチャ募金を設置するなど寄付の仕組みを工夫し、寄付金の増加を図る。 ・講座受講料は、なるべく受講しやすい価格に抑えながら、適切に設定する。 ・助成金は、活動前、及び活動中に得られる助成を積極的に申請し、立替払いを抑えていく。
<p>(2) ツイッターの継続活用について</p> <p>インターン生が創設したツイッターページであるが、4 月 19 日以降更新が止まっている。また facebook ページは 1107 フォロワーがいるが、ツイッターは開設間もないこともあってか 67 フォロワーに留まっている。また、中長期計画には「匿名性の高い SNS は活用しない」との言及がある。この現状や整合性も含め、今後ツイッターのどのように活用するのか(あるいはしないか)について組織として議論し、決定する必要がある。</p>	<p>これまで、イベント告知等に匿名性の高い SNS は活用しないとしていたが、インターン生が新規事業・活動を希望し、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「食物アレルギーのない若者層」への食物アレルギーの社会的理解の発信 ・インターン終了後も法人スタッフが運用できる仕組みづくり <p>を目標に開設した。</p> <p>令和 2 年度は、初めてのインターン生受け入れであった為、サポートスタッフが主となり対応を行うことで学生が希望した新規事業への挑戦が実現できた。現在、新体制で同条件の受け入れを行うことは、力量・体制において困難である。その為、令和 3 年度は既存事業の活動を希望するインターン生を受け入れる予定としている。</p> <p>ツイッターは、法人スタッフがイベントの性質に合わせて活用しているが、明確に整理すべき点である。</p>
<p>(3) 監事の増員について</p> <p>今年度監事の交代があり、現在の監事の人選も適切と思われる。その上で、可能であれば役割分担（例えば一人は業務監査中心、もう一人は財産状況中心など）やダブルチェックの視点も鑑み、複数の監事を配置することが望ましいと考える。この点について理事会でぜひ積極的な議論を期待する。</p>	<p>監事就任時、業務監査・会計監査を共にお引き受けいただけるとのことで 1 名の配置となった。複数の監事設置の必要性について、11 月実施予定の理事会で検討を行う。</p>

備考（審査委員会のコメント）

--

特定非営利活動に関する外部評価の評価項目について

評価対象法人	認定特定非営利活動法人 DARC
評価者氏名（職名）	松田 美枝（京都文教大学臨床心理学部臨床心理学科准教授）
評価対象期間（年度）	令和2年度（令和2年4月1日～令和3年3月31日）

1 法人の事業活動，組織運営等に関する状況

(1) 事業活動について

ア 事業計画等を策定しているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
各事業年度の事業計画は，組織的な合意形成(総会・理事会等)に沿って策定しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
法人の目的を達成するための中長期的計画を策定しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

イ 法人の目的を達成するための基幹となる事業を実施しているか。

法人自己評価		外部評価	
はい	いいえ	はい	いいえ
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

→ 法人自己評価及び外部評価が「はい」の場合，基幹となる事業のうち優先順位の高いものから順に3件程度記入。

項目	法人全体の労力に占める事業に割く労力の割合*
事業名 薬物依存症者の回復支援事業	80%
事業名 薬物依存症・薬物乱用の予防啓発事業	10%
事業名 薬物依存症者の家族ケア	10%

※ 例) 総従事時間数に占める各事業の従事時間数の割合

(2) 組織運営について

ア 定款に定める権能に基づき，総会で審議・意思決定が行われているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
定款に定める正当な招集者の範囲や方法で招集し，議案書に基づき審議を行う体制となっているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
定款で定められた内容を審議事項として審議しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
決議や議事録署名人の選任，議事録の作成について定款に定める方法で行っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

イ 【定款で理事会の設置を定めている場合】 定款に定める権能に基づき，理事会で審議・意思決定が行われているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
定款に定める正当な招集者の範囲や方法で招集し，議案書に基づき審議を行う体制となっているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
定款で定められた内容を審議事項として審議しているか。また，総会の審議事項との区分は明確か。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
決議や議事録署名人の選任，議事録の作成について定款に定める方法で行っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

ウ 監事による監査は適正に行われているか。

項 目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
監事はその法人における特別な立場を理解し、第三者性及び公正性が確保されているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
監事は法人の理事や職員を兼務していないか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
監事は定款に定める職務を執行しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
予算・決算書の作成者が、監査まで行っていないか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

(3) 情報公開について

法人に関する情報を公開しているか。

項 目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
活動の状況や法人運営に係る情報をホームページ等の情報開示ツールで発信しているか。また、適時に更新しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
活動の報告等を会報誌等で情報発信しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
法定の閲覧書類（事業報告書等、役員名簿、定款等）はいつでも閲覧できる状態か。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
事業報告書等の記載内容は、外部に対して理解してもらえるように工夫※して作成されているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

※例：概要の記載や、写真やデータなどを用いたレイアウト等、読み手に対して内容を分かりやすく伝える工夫

(4) コンプライアンス（法令遵守等）について

コンプライアンス（法令遵守等）の観点から組織として取組を推進しているか。

項 目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
事業・活動に関連する法令※を把握し、遵守しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
重要な事項や個人情報を含むデータ・書類等のリスクマネジメントを行っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

※対象となる法令：特定非営利活動促進法，登記に関する法令（組合等登記令），税に関する法令（法人税法等），労務に関する法令（労働基準法等），事業ごとに適用される法令（例：介護保険制度に基づくサービス提供←介護保険法の適用）など

(5) 外部評価について

活動内容を評価し、改善する仕組みを有しているか。

項 目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
これ以前に外部評価を受けたことがあるか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
外部評価を受けた結果を、理事会等で審議する機会を設ける等、改善する機能を有しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

2 法人の事業活動に関する所見

※ 活動の意義・成果等、広く社会に対して活動の成果を発信しているか、地域団体等の他団体との連携の状況など

薬物依存者は、刑務所を出所あるいは精神科医療機関を退院しても、薬物に対する渴望が消失するわけではなく、元の生活に戻れば簡単に薬物を入手することができ、また、社会の偏見の目に晒されることが多く、安心感を持って回復に取り組める場を見つけることは容易ではない。そのような状況に置かれた当事者を、京都 DARC はさまざまな方法によりサポートし、薬を使わずに生きる生活を共に実践している。

具体的には、ネクサス1・2での共同生活援助およびネクサス3において居宅生活を安定して送れる環境を整え、スタッフが寝泊まりしながら見守っている。日中の活動としてはデイセンター・マハロにおいてミーティングや昼食作り、レクリエーション等を新型コロナウイルス感染症に注意しながら行っている。また、ボランティアや農作業を通して、DARC メンバーが地域の方々と交流する場も多く設けられており、地域に馴染み、地域の中で回復していくための活動がなされているものと思われる。

地域団体との連携としては、本人・家族・関係者への電話および面接による相談援助を行っている上に、刑務所、更生保護施設、保護観察所、大学など他機関との連携のもと、当事者への支援が、直接的・間接的に行き届くように活動を行っている。

広く社会に対する普及啓発活動としては、ニュースレターの発行・発送を行うとともに、学校の生徒や保護者、教職員への講演などを行っている。また、精神保健福祉センターの依存症セミナー等で体験談を話すことで、薬物依存症についての理解を深めてもらうことに貢献している。

以上について特に改善点は見当たらないが、新型コロナウイルス感染症対策を今後も気を緩めずに行うことが求められる。また、新しくできたグループホームが地域に馴染んでいくように、住民との対話に今後も努めることが望ましい。

3 法人の組織運営に関する所見

※ 財務管理の透明性、組織体制の状況など

財務管理は適正に行われており、そのことは、監事の弁護士2名により確認されている。

組織運営については、施設内の研修を定期的実施しており、また施設外の研修にも参加して、知識や技術の更新に努めている。

安定運営が行われており、特に注文を付けることはないが、通所メンバーの回復支援を最優先の使命としつつも、京都 DARC の活動の意義を理解し支えようとしてくださる、より多くの方々に、それぞれができる形（直接的・間接的）で関わり続けて頂けるような体制の維持が望ましいものと思われる。

《評価対象法人記入欄》

4 外部評価結果への対応状況

外部評価により提言・指摘等を受けた事項に対する対応状況（今後対応する場合は対応予定）

提言・指摘等を受けた事項	対応状況又は対応予定
新しくできたグループホームが地域に馴染んでいくように、住民との対話に今後も努めることが望ましい。	近隣の方々に出会ったときの挨拶や近くの公園の清掃を行っている。今後、地域の催し物にも積極的に参加していきたい。
京都 DARC の活動の意義を理解し支えようとしてくださる、より多くの方々に、それぞれができる形（直接的・間接的）で関わり続けて頂けるような体制の維持が望ましいものと思われる。	年6回のニュースレターの発送、寄付をしてくださった方へのお礼状の送付。年一回のフォーラムはコロナ感染予防のため中止。今後、フォーラムに代わる活動を検討したい。

備考（審査委員会のコメント）

（審査委員会に報告後、当方で記載します。）